

令和2年度 学生による地域活性化プログラム

広田秀樹ゼミナール

取組 1

グラスルーツグローバル化セッション

—草の根・地域からの人類一体化の推進

私たちは現在進展している世界レベルでの人類一体化の潮流であるグローバル化を、草の根・地域レベルから、若者らしい自由で飛躍的な発想と力強い行動力で、実行可能なところから推進して行きます。

具体的には、地域の国際交流の歴史と現状に関する調査活動、世界から地域に来られた方との交流を通じての世界的視野の拡大、自分たちが蓄積して行く国際理解関連の知識を地域へ展開する草の根国際理解教育の推進などを考えています。



【参加学生】 24名(2年生2名,3年生13名,4年生9名)

4年生 徐晗、内山雄太、王俊豪、久保田晃平、白井優希、陶锦晔
長谷川侑太、飛田野雄太、尹昊天

3年生 三本真太郎、江村拓真、王懿倫、佐野広樹、鈴木清和
武石大夢、中野琉星、丸山壮史、皆川春輝
Tran Phuong Thao、张贝琪、李思萌、華夏

2年生 张娜、张苗苗

【アドバイザー】

green philosophy (グリーン・フィロソフィー) 代表 大出恭子氏
フェアトレードショップ・ら・なぶう オーナー 若井由佳子氏

鯉江康正ゼミナール

取組 2

まちの情報発信拠点 「まちの駅」の認知度アップに向けて

「まちの駅」は人と人の出会いと交流をサポートするまちの情報発信拠点であり、平成10年からネットワークが作られ、現在全国に約1500駅ができています。本ゼミでは、「まちの駅」をフィールドとした調査・研究を平成19年度から行っています。本年度も引き続き、県内の「まちの駅」のパネル作成を行っていきます。

今年度はコロナ禍の影響で、昨年度まで行ってきた、「まちの駅」関連のイベントが軒並み中止となっており、活動が思うようにできない日々を送っています。そのような中でも「花はすの水やりボランティア」だけは相手が植物ということで、予定通り実施できそうです。

そのような状況下で、かねてから懸案であった「まちの駅」の認知度の低さをどのようにしたら解決できるかを探る目的で、認知度アンケート調査を行い、認知度を上げる方策を検討し、ゼミとしてできる情報発信を実現していきます。



【参加学生】 15名(3年生6名,4年生9名)

4年生 Enkhbat Solongo、大竹一輝、小林萌香、小山陸、智野虎太郎
沼沢純子、阳凯枫、Bayarkhuu Tugsbold、
Altanchimeg Delgermaa

3年生 赤塚倫子、Erdenemyagmar Munkhsuld、木下歩美
坂元明日香、李智超、Nyamaa Baljinnyam

【アドバイザー】

全国まちの駅連絡協議会 関東甲信越運営監事 中川一男氏
NPO法人市民協働ネットワーク長岡コーディネーター 太田道子氏

令和2年度 学生による地域活性化プログラム

石川英樹ゼミナール

取組 3

栃尾地区活性化に向けた商品開発・ツアー開発・空き家活用

栃尾高校と協働して、栃尾地区のPR および交流人口増加につながる取り組みを進めます。栃尾地区の地域資源を活用した商品開発、ツアー開発を試みます。さらに、雁木通りの空き家を活用したギャラリーやイベント空間の創設事業をサポートします。



【参加学生】 23名 (3年生10名、4年生13名)

4年生 旭和馬、石川孝太郎、大野航、駒形昌亮
竹内寛織、布川海渡、野澤幸紀、松平輝真
森雅希、王暢宇、温嘉楠、胡少峰、劉寒

3年生 阿部紘輝、王浩田、金子響、小泉日和、小林真由香、竹内葵
永田藍美、松永優芽、山本紘也、米山和成

【アドバイザー】

デザイン事務所オオタケコウスケ 代表 大竹幸輔 氏

権 五景ゼミナール

取組 4

十分杯で長岡を盛り上げよう！

長岡の文化遺産であると同時に、変わった形の杯である「十分杯」の活用を、長岡を代表する観光資源の一つにすることを目標としています。ところが、まだまだ市民の認知度が低いという難題があります。そこで、広報活動と十分杯動画製作を行います。



【参加学生】 6名 (2年生1名、3年生1名、4年生4名)

4年生 五十嵐凌、高尚、齋藤克裕、藤田歩乃香
3年生 阿部滉平
2年生 長部康平

【アドバイザー】

株式会社長谷川陶器 社長 長谷川真 氏
魚沼市役所北部事務所総合窓口係 主事 中澤司 氏

令和2年度 学生による地域活性化プログラム

栗井英大ゼミナール

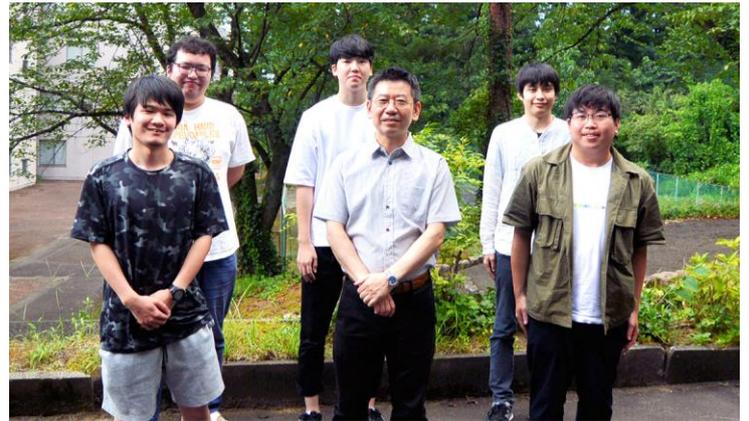
取組 5

オープンファクトリーで 長岡を活性化！

・長岡市の工業は、東山油田の開発に伴う石油掘削機械の製造・修理等を機に発展したとされます。第二次世界大戦後、それらの企業は、工作機械・鋳造業等に変貌を遂げ、また、工作機械製造を支える、めっき・表面処理、鍛造業といった企業も集積、発展し、今日に至っています。機械・金属関連産業は、長岡の地域資源と言えるでしょう。

・一方、地域の人々の中には、その事実を知らない人も多くいます。

・そこで、普段は閉ざされている工場、すなわちモノづくりの現場を社外の人々に公開する取り組み「オープンファクトリー」の開催によって、機械・金属関連産業の「見える化」を図ります。それにより、地域内の人々に広める、あるいは、再認識してもらうことを目指します。



【参加学生】 5名（4年生5名）

4年生 青柳智也、井木一真、伊藤圭祐、近藤優圭、庭山遼太

【アドバイザー】

株式会社アルモ 代表取締役社長 柴木樹氏
長岡市商工部工業振興課 課長補佐 渡辺裕司氏

生島義英ゼミナール

取組 6

長岡市摂田屋の魅力高め、 観光客を増やし、地域活性化を図る

「長岡市摂田屋の魅力高め、観光客を増やし、地域活性化を図る」をテーマに掲げ、「観光まちづくり」により長岡市の地域活性化を図ります。



【参加学生】 14名（3年生14名）

3年生 五十嵐慎太郎、岩城優希、大港樹、岡田大輝、岡本猛、河田海、小池慎一郎、小海友希、高橋凜、長橋伊吹、中村瑞穂、樋口知恵、吉澤瞳、渡邊衣舞希

【アドバイザー】

長岡市観光・交流部観光企画課 課長補佐 馬場信行氏
機那サフラン酒本舗保存を願う市民の会 事務局長 平沢政明氏

令和2年度 学生による地域活性化プログラム

坂井一貴ゼミナール

取組 7

データエビデンスに基づいた 地域をより良くするための提言

～地場産業・観光を中心に～

政府統計や各種統計を収集・分析し、そのエビデンスに基づき、地域（長岡市・長岡地域、または広域として新潟県）を経済的により良い状態とするための提言を行うことを計画しています。

多様な分野が存在しますが、本ゼミにおいては特に、地場産業分野、および域外からのマネー流入のための観光分野を主たるテーマとして計画しています。

重要目標達成指標（KGI）としては、県民所得や県民の雇用者報酬、さらには人口減少幅の推移等を設定し測定すべきものと考えますが、短期（1年から2年）では明確な因果関係までを示唆するものになりにくいことから、重要業績評価指標（KPI）の設定を含めて今後詳細を詰めていく予定です。



【参加学生】 14名（3年生14名）

3年生 安達侑、井口太一、池浦鼓太郎、大矢大介、黒柳恵理
齋藤翔太、白倉亮、菅原脩人、高野祐希、永井公貴
永井拓実、永島侑汰、中村理人、宮川友之介

【アドバイザー】

長岡商工会議所 営業サービスグループ 主幹 瀧澤学 氏

喬 雪氷ゼミナール

取組 8

「文化村構想」から学ぶ経営と会計

～経営戦略・資金調達・企業誘致・予算管理・利益計画～

グローバル化が拡大する世の中、個人の生活も世界情勢の変化に影響されます。真の国際化とは、畢竟自国の文化を大切に守り、受け継ぎ、世界に発信することから始まると考えます。

本ゼミでは、「蚕、織物、絹生活、文化村構想」をキーワードとして、「みどり繭」を原材料として「絹生活研究所・Silk life lab」のブランド商品の開発・販売戦略を学習しながら、十日町「文化村構想」を実課題として取り組んでいきます。活動を通じて、経営戦略、資金調達、アトリエ企業誘致、予算管理、利益計画など財務会計と管理会計の知識を実践的に習得することを目指します。



【参加学生】 8名（3年生5名、4年生3名）

4年生 牛田静華、藤本雄生、皆川知洋
3年生 金子大輝、川上智輝、服部源太、吉澤凌哉、和田愛理沙

【アドバイザー】

株式会社きものブレイン 代表取締役社長 岡元松男 氏
富士工営株式会社・株式会社崇洋 代表取締役会長/
マリンスポーツ はまかぜ 代表 池津忠 氏